

# 地すべり対策事業による整備効果事例 (地)清水山地区 北安曇郡小谷村清水山

## 【事業効果】 集落の孤立化を防止 人家戸数 21戸

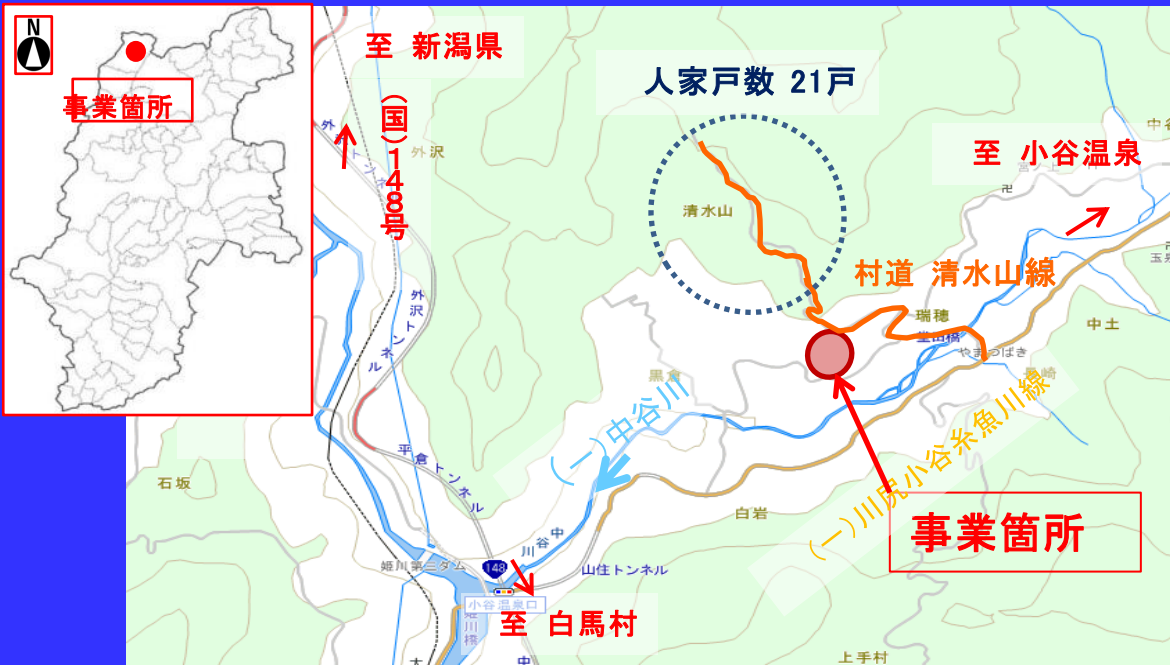
清水山は古くから地すべりが発生しており、S34年に地すべり防止区域に指定された以降も度々地すべりが発生し、その都度対策工事を行ってきた。

H25年に新たな地すべりが発生し、融雪期には変動量が7m/月を超えるほど顕著な動きが確認された。このまま拡大すれば村道が決壊して集落が孤立化する恐れがあったため、緊急的に地すべり対策工事を行い、H27.3にアンカー工、抑止杭工等を完成させた。

その後、H27.4に地すべりが再度活発化し本格的な崩壊に至ったものの、地すべり対策施設により上部への拡大を防ぎ、集落の孤立化を未然に防いだ。

## 【事業箇所の位置】

## 【経過】



- ・H25.8 村道に亀裂発生
- ↓
- ・H25.10 クラック拡大
- ↓
- ・H26.3 融雪により動きが活発化  
変動量 7m/月超  
累積変動量 12m超
- ↓
- ・H26.8 累積変動量 20m超  
動きは沈静化
- ↓
- ・H27.4 再度動きが活発化、崩壊

対策施設により集落の孤立化防ぐ

# 全景

事前に施工した対策施設により拡大を防ぐ

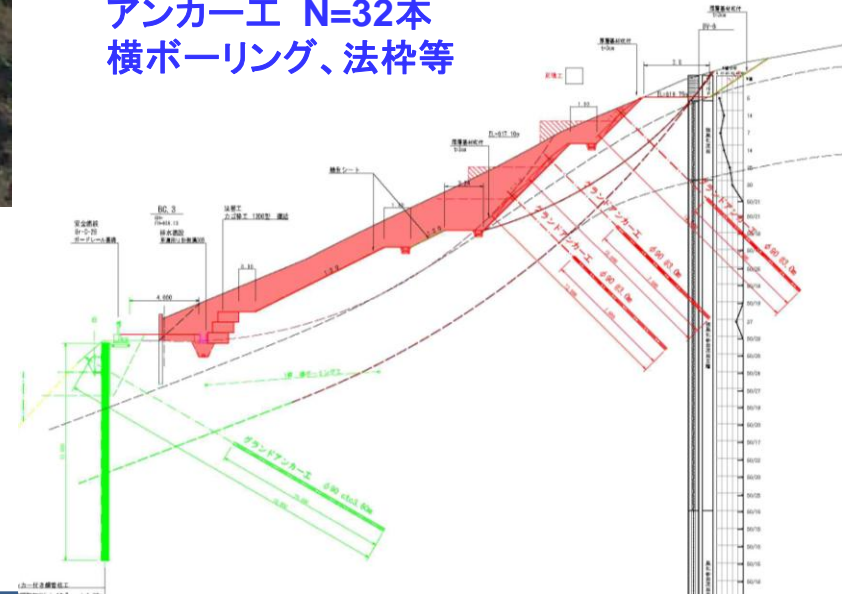


# 上部 対策施設の状況



# 対策施設の横断図

抑止杭工 N=40本  
アンカー工 N=32本  
横ボーリング、法枠等



# 崩壊後の末端部の状況

